

専門課程シラバス

授業科目	在宅看護論/訪問看護援助技術			担当者	廣瀬春美		
開講時期	2年前期・後期	授業の方法	講義	単位数	2	時間数	45
授業概要	<p>地域包括ケアシステムを理解し、対象者を尊重した在宅看護を展開するために必要なチームケア・倫理的課題・リスクマネジメント・在宅看護過程の基本的な知識を学ぶ。事例演習を通して、個別的な在宅看護過程の展開を行う基礎的能力を身につけるとともに、自己の在宅看護観を培う。</p>						
授業計画	<p>1 地域包括ケアシステム 2 地域における多職種、多機関との連携・協働 3 在宅看護における権利保障① 4 在宅看護における権利保障② 5 在宅療養上のリスクマネジメント① 6 在宅療養上のリスクマネジメント② 7 在宅療養上のリスクマネジメント③ 8 在宅看護過程の展開の基礎 9 在宅事例に沿った看護過程の展開(個人演習) 10 在宅事例に沿った看護過程の展開(グループワーク) 11 在宅事例に沿った看護過程の展開(グループワーク) 12 在宅事例に沿った看護過程の展開(グループワーク) 13 在宅事例に沿った看護過程の展開(グループワーク) 14 在宅事例に沿った看護過程の展開(グループ発表・まとめ) 15 試験・まとめ</p> <p>1 在宅看護を支えるコミュニケーション 2 在宅看護に必要な日常生活援助技術① 3 在宅看護に必要な日常生活援助技術② 4 在宅における医療管理を要する人の看護① 5 在宅における医療管理を要する人の看護② 6 在宅における医療管理を要する人の看護③ 講義・演習 7 7 在宅における医療管理を要する人の看護④ 8 在宅における医療管理を要する人の看護訪問時のマナー、試験・まとめ</p>						
テキスト参考文献	<p>系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 (第5版) 医学書院 2019</p>						
成績評価の方法	<p>筆記試験 75%, 演習への取り組み状況 10%, 提出課題 15%</p>						